

猶々御氣色無御油断御保養可

被成候、此方御用等も御座候ハ、可被

仰聞候、不相易可得御意候、市兵衛殿ニも

今度初^而得御意候、此方之様子

市兵衛殿御物語可被申候、以上

今度村川市兵衛殿御越付

同性庄左衛門方^江六月一日之

御札拜見、御紙面之趣

四郎五郎為申聞候、先以貴様

御事、去四月頃より御氣分勝

不申候由無御心許奉存候

依之此度御出無之旨

御尤候、無御油断御保養可

被成候

一 村川市兵衛首尾能

御目見相濟諸事無殘

所、御仕舞御帰候、我等共迄

大慶存事

一 御老父去々年九月三日^ニ御

死去被成候由被仰下候、兎角

可申述様無御座候、四郎五郎^茂

御殘多候由、呉々被申出候

一 同性庄左衛門儀去二月初頃より

相煩養生色々尽養保候

得共不相叶、四月八日相果

申、無是非仕合御察可被下候

御亡父御事御懷敷杯と常々

被申出候得候キ貴様御事

御代々之御近付^{ニ而}御殘多可

被思召候

一 松嶋渡海舟破損候様子別

紙御書付被下、則為見申候

打続ケ様^ニ御不仕合、嘸々御難儀^ニ

可有之と市兵衛拙者共と

御噂耳被申出候

一 庄左衛門数年各様御慈志候

段兼存候、此上不相易

御心可得御意候、此方相応之

御用等も御座候ハ、可被聞候

四郎五郎方より^茂委細以書状

被申入候、猶以拙者よりも右之段

可申進候由被申付候、猶期

後音之時候、恐惶謹言

龜山数右衛門

八月三日 □□（花押）

大屋九右衛門様

御返事